



東労基発1214第1号  
令和4年12月14日

一般社団法人東京都警備業協会  
会長 村井 豪 殿

東京労働局労働基準部長

警備員の車両誘導中における労働災害防止の徹底について（要請）

平素より労働安全衛生行政にご協力を賜り、厚く御礼申し上げます。  
さて、本年の都内における警備業の労働災害発生状況については、11月末現在で死亡者が5人と前年同期に比べて2人増加、休業4日以上の死傷者が304人と前年同期に比べて14人、4.8%の増加となっております。

死亡災害においては、毎年、建設現場や公道上における車両誘導中に警備員が車両に轢かれる事案が散見され、本年の死亡者5人のうち、2人が建設現場での警備業務中に死亡しており、そのうち1人が車両に轢かれ死亡しております。これまでの災害の特徴としては、単独による車両誘導作業において後退中の車両に轢かれる災害が多く発生しており、車両との接触防止対策や警備員に対する安全教育の強化とともに、建設現場においては施工管理を行う元請事業者との連携が必要不可欠です。

つきましては、車両誘導中における警備員と車両との接触による労働災害を防止するため、貴団体傘下の会員に対して、下記の事項を重点とした労働災害防止対策の強化を図っていただきますよう、お願い申し上げます。

記

- 1 警備員の作業や配置に係る計画段階における的確なリスクアセスメントの実施と同計画の周知徹底
- 2 作業指揮者の配置や車両との接触防止対策の徹底
- 3 車両誘導作業に従事する者への安全教育の実施
- 4 建設現場における元請事業者との連携強化

※ 注意喚起用リーフレットを作成いたしましたので、同リーフレットのチェックリストをご活用ください。

## 【近年に発生した車両誘導中における警備員の死亡災害事例】

(東京労働局把握分)

	発生年月	発生状況
1	令和4年 10月	警備員が建設現場内にあった2台の車両（トラック）を退出させ、ゲート前の定位置に戻り待機していたところ、一旦場外に退出させた車両が後退してきて、背面から轢かれた。
2	令和3年 9月	公道で車両誘導中、誤って急にバックしてきた車両に轢かれ、車両とブロック塀の間に挟まれたもの。
3	令和3年 6月	駅前の路上にてバスを誘導している際に転倒し、バス後輪に頭部を轢かれた。
4	令和3年 6月	土木工事現場で車両を誘導していた被災者にトラックが接触した。
5	令和2年 12月	トンネル工事現場の交通誘導員として入場し、所定の作業場所である出入口付近に向かって歩いていたところ、掘削した土砂の搬出作業で走行中のダンプに接触した。
6	令和2年 9月	工事現場の車道で工事車両が停まっていたので、追突防止の為に幅寄せ誘導を行っていたところ、前方から来たバイクに追突され、その反動で工事車両に激突した。
7	令和元年 9月	路面補修工事において、廃材を運搬する車両を誘導中、バックしてきた大型ダンプに轢かれた。
8	令和元年 8月	建設工事現場前の道路上で当該工事に係る交通誘導警備員として2人体制で交通誘導の業務に従事していたところ、後退してきた車両積載型トラッククレーンの後輪に被災者が轢かれた。